

平成23年度 学校給食における地場産物(岡山県産品)の使用割合 (県教育委員会調査)

1. 平成23年度の状況

	平成23年 6月	平成23年 11月	平成23年 平均
岡山市	38.6%	41.8%	40.2%
倉敷市	54.8%	52.2%	53.5%
津山市	41.6%	40.9%	41.3%
玉野市	45.4%	48.4%	46.9%
笠岡市	47.6%	42.7%	45.2%
井原市	45.9%	49.1%	47.5%
総社市	42.9%	40.1%	41.5%
高梁市	54.6%	56.5%	55.6%
新見市	51.3%	62.8%	57.0%
備前市	56.7%	42.2%	49.5%
瀬戸内市	52.7%	46.7%	49.7%
赤磐市	51.6%	43.2%	47.4%
真庭市	45.6%	46.6%	46.1%
美作市	44.2%	58.1%	51.2%
浅口市	42.5%	36.9%	39.7%
早島町	52.4%	50.0%	51.2%
里庄町	46.5%	36.8%	41.7%
矢掛町	52.9%	41.8%	47.3%
新庄村	42.7%	41.0%	41.9%
鏡野町	42.0%	42.0%	42.0%
勝央町	45.0%	44.7%	44.9%
奈義町	43.9%	52.7%	48.3%
西粟倉村	41.5%	41.3%	41.4%
久米南町	52.5%	46.3%	49.4%
美咲町	50.0%	51.3%	50.7%
吉備中央町	48.1%	34.0%	41.1%
和気町	60.1%	62.7%	61.4%
県立学校平均	42.7%	45.4%	44.1%
岡山県平均	47.7%	46.4%	47.0%

※ 岡山県産品使用割合の算出方法

$$\text{使用割合} = \frac{\text{岡山県産品目数}}{\text{全使用品目数}} \times 100$$

2. 調査結果の概要

・各市町村では、地場産物の活用促進のため、農林部局や農業関係者や生産者団体、流通関係者等のネットワーク体制をつくり、学校給食への地場産物の安定供給に努めたり、計画的な献立作成をしている。今年度は、9月には台風12号、15号と2つの台風による被害もあったが、10月以降安定した天候が続き、野菜などの農産物は例年並みの作況状況だった。

3. 年次推移

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
県使用割合	27%	36%	41%	44.7%	48.7%	46.8%	47.0%

4. 参考

○新おかやま夢づくりプラン目標

学校給食における地場産物を使用する割合

平成18年度 実績 36%
↓
平成23年度 47%

○岡山県教育振興基本計画目標指標

学校給食における地場産物を使用する割合

平成20年度 実績 44.7%
↓
平成26年度 47%